平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月9日

上場会社名　ヨネックス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　7906　URL　http://www.yonex.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 米山　勉
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役　(氏名) 連下　千歳　TEL 03-3839-7112
四半期報告書提出予定日　平成24年2月13日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　無
四半期決算説明会開催の有無　:　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	27,613	3.7	795	199.7	800	365.2	188	—
23年3月期第3四半期	26,636	△1.7	265	△64.5	172	△77.9	△28	—

(注)包括利益　24年3月期第3四半期　54百万円　(—%)　23年3月期第3四半期　△182百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	8.74	—
23年3月期第3四半期	△1.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	37,358	27,415	73.3
23年3月期	38,562	27,644	71.6

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　27,385百万円　23年3月期　27,622百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
24年3月期	—	7.50	—		
24年3月期(予想)				7.50	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,200	4.1	1,600	28.6	1,550	27.6	700	△2.6	32.34

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　:　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	23,405,200 株	23年3月期	23,405,200 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	1,750,675 株	23年3月期	1,799,447 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	21,629,808 株	23年3月期3Q	21,551,751 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

業績予想等の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、[添付資料]P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間における世界経済は、牽引役である新興国、資源国の高成長に陰りが見え始め、欧州の債務危機の深刻化は広範に影響を及ぼし、停滞感を増しました。

スポーツ用品業界では、ロンドンオリンピックを間近に控え、各種目において代表選手の選考が白熱してまいりました。しかしながら、不透明な経済環境による消費意欲の低迷や需給バランスの混乱により、用品販売は停滞した状況が続いております。

また、スポーツ施設の利用は、景気の停滞や自然災害の多発に伴い足踏み状態にあり、消費単価も下げ止まった状況が続いていることから、厳しい経営環境にあります。

このような経営環境の中、当社グループは先進技術による高機能製・商品の開発、斬新なデザインによる新製品の投入により需要を喚起するとともに、話題性の高い選手、チームを採用した広告宣伝活動やユーザーとの触れ合いによる直接的な販売促進活動、緻密な分析と的確な販路の選択による営業活動を展開し、ヨネックスブランドの浸透と売上の増大を図ってまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間における連結売上高は276億13百万円（前年同四半期比3.7％増）となり、販売原価の抑制や経費の削減に努めた結果、営業利益は７億95百万円（前年同四半期比199.7％増）、経常利益は８億円（前年同四半期比365.2％増）、四半期純利益は１億88百万円（前年同四半期は28百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①［スポーツ用品事業］

イ．［日本］

日本市場は、経済の緩やかな回復の途上、３月に発生した東日本大震災と原子力発電所の事故、その後も頻発する自然災害等により大きなダメージを受けました。当社グループでは、この震災以降の日本のおかれた厳しい状況下、「スポーツで笑顔プロジェクト」と銘打った交流会を継続展開し、被災地の皆様にささやかな癒しの機会を提供させて頂いております。

また、震災の直接的被害が無い輸出、仲介取引の増加にも傾注いたしました。

原子力発電所の事故の影響で一時的に手控えられていたスポーツ競技も、徐々に活況を取り戻しつつあります。

バドミントンでは、選手層、愛好者層からの堅調な御指名を頂き、売上は前年同四半期に近い水準にあります。

テニスでは、ソフトテニスの好調と硬式テニスの新製品ラケットが高評価を頂き、売上は前年同四半期に比べ増加いたしました。

ゴルフでは、業界不振の影響が色濃い中、地道な販売活動を継続した結果、売上は前年同四半期を上回りました。

当社グループでは、震災等の影響を重視し売上の伸張を保守的に見込み、販売費及び一般管理費の抑制、経費効果の向上に努めました。

この結果、売上高は244億79百万円（前年同四半期比3.7％増）、営業利益は７億51百万円（前年同四半期比329.3％増）となりました。

ロ．［北米］

北米市場は、住宅バブルの崩壊で毀損したバランスシート調整問題に加え、日本の大震災や既往の原油高、高い失業率の継続等により家計消費の回復は遅れております。テニス、ゴルフの売上は、円高と市場価格の低下により苦戦しており、バドミントンの売上伸張の好材料をもってしても前年同四半期を下回りました。

この結果、売上高は７億51百万円（前年同四半期比1.2％減）、営業利益は８百万円（前年同四半期比5.5％減）となりました。

ハ．［ヨーロッパ］

ヨーロッパ市場は、ＥＵ諸国の債務危機が深刻化しており、景気の悪化から消費は低迷しております。欧州基幹通貨安が急伸する中、過剰供給商品の値下げ販売等により市場価格は低下しており、ゴルフ、テニス、バドミントンともに、売上は低迷しております。

この結果、売上高は11億64百万円（前年同四半期比2.5％減）、営業損失は20百万円（前年同四半期は37百万円の営業損失）となりました。

ニ．［アジア］

アジア市場は、新興国、資源国の内需の好況を背景に急速な拡大傾向にありましたが、中国の景気の急減速により陰りが見えております。台湾における用品売上はバドミントンを中心に堅調に推移しました。中国では前期設立したゴルフ販売会社が本格的に稼働し始めましたが、先行メーカーとの競合が激しく、価格競争、経費の高騰等により苦戦いたしました。

この結果、売上高は７億92百万円（前年同四半期比25.6％増）、営業損失は24百万円（前年同四半期は57百万円の営業利益）となりました。

これらの結果、各地域セグメントを合計したスポーツ用品事業の売上高は271億88百万円（前年同四半期比3.8％増）、営業利益は７億15百万円（前年同四半期比249.5％増）となりました。

②［スポーツ施設事業］

スポーツ施設事業の中核を成すヨネックスカントリークラブでは、５月に「ヨネックスレディスゴルフトーナメント」を開催し、トーナメントコースとしての話題を高め、入場者数増加を図りました。冬季シーズンを迎え、厳冬、降雪の影響から例年に比べ稼働が低下しておりますが、コース整備、維持等を効率的に進め、費用の削減を図っております。

この結果、スポーツ施設事業の売上高は４億24百万円（前年同四半期比2.5％減）、営業利益は58百万円（前年同四半期比110.4％増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の資産につきましては、373億58百万円となり、前連結会計年度末に比べて12億４百万円の減少となりました。その主な要因は、売掛金の減少、たな卸資産の増加によるものであります。

当第３四半期連結会計期間末の負債につきましては、99億42百万円となり、前連結会計年度末に比べて９億75百万円の減少となりました。その主な要因は、支払手形の減少によるものであります。

当第３四半期連結会計期間末の純資産につきましては、274億15百万円となり、前連結会計年度末に比べて２億28百万円の減少となりました。その主な要因は、利益剰余金と為替換算調整勘定の減少によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期通期の連結業績予想につきましては、平成23年11月４日公表の数値から変更ありません。

２．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,886,844	6,617,947
受取手形及び売掛金	9,021,426	7,557,583
商品及び製品	2,850,332	3,053,813
仕掛品	692,711	933,156
原材料及び貯蔵品	662,943	782,510
繰延税金資産	350,077	196,160
その他	1,382,535	2,143,145
貸倒引当金	△50,659	△46,256
流動資産合計	21,796,212	21,238,062
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,884,631	2,770,460
土地	7,472,797	7,450,699
その他（純額）	1,850,559	1,810,710
有形固定資産合計	12,207,988	12,031,870
無形固定資産	902,974	1,185,044
投資その他の資産		
投資有価証券	96,217	85,779
長期預金	2,200,000	1,700,000
繰延税金資産	1,082,208	835,002
その他	441,110	442,817
貸倒引当金	△164,149	△160,543
投資その他の資産合計	3,655,387	2,903,056
固定資産合計	16,766,349	16,119,971
資産合計	38,562,561	37,358,033

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,052,379	3,503,347
未払金	741,467	1,083,138
1年内返済予定の長期借入金	45,400	45,400
未払法人税等	140,996	36,819
未払消費税等	82,253	―
賞与引当金	516,452	171,556
役員賞与引当金	15,300	9,600
設備関係支払手形	70,439	49,626
その他	412,516	596,607
流動負債合計	6,077,203	5,496,097
固定負債		
長期借入金	45,400	―
退職給付引当金	2,082,583	2,059,752
役員退職慰労引当金	437,267	159,237
長期預り保証金	2,251,014	2,210,623
その他	24,797	17,020
固定負債合計	4,841,063	4,446,634
負債合計	10,918,267	9,942,731
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,706,600	4,706,600
資本剰余金	7,483,439	7,483,439
利益剰余金	17,602,291	17,466,881
自己株式	△1,355,648	△1,322,431
株主資本合計	28,436,682	28,334,489
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,721	△11,851
為替換算調整勘定	△809,077	△936,847
その他の包括利益累計額合計	△813,799	△948,699
新株予約権	21,411	29,512
純資産合計	27,644,294	27,415,302
負債純資産合計	38,562,561	37,358,033

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	26,636,292	27,613,058
売上原価	15,720,544	16,320,310
売上総利益	10,915,748	11,292,748
販売費及び一般管理費	10,650,365	10,497,413
営業利益	265,382	795,335
営業外収益		
受取利息	17,423	12,530
受取賃貸料	17,072	18,898
受取ロイヤリティー	82,824	95,590
その他	20,491	28,977
営業外収益合計	137,811	155,996
営業外費用		
支払利息	13,901	11,947
売上割引	13,226	12,937
為替差損	197,951	118,560
その他	6,046	7,427
営業外費用合計	231,125	150,872
経常利益	172,068	800,459
特別利益		
固定資産売却益	2,485	37,428
特別利益合計	2,485	37,428
特別損失		
固定資産売却損	1,313	1,236
固定資産除却損	4,934	5,600
投資有価証券売却損	84	－
役員退職特別功労金	－	120,000
訴訟関連損失	48,870	－
特別損失合計	55,202	126,836
税金等調整前四半期純利益	119,350	711,051
法人税、住民税及び事業税	56,258	117,607
過年度法人税等戻入額	△16,107	－
法人税等調整額	107,202	404,466
法人税等合計	147,353	522,073
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△28,002	188,977
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△28,002	188,977

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△28,002	188,977
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,033	△7,129
為替換算調整勘定	△152,138	△127,770
その他の包括利益合計	△154,171	△134,899
四半期包括利益	△182,174	54,078
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△182,174	54,078
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	スポーツ用品事業					スポーツ施設事業			
	日本	北米	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
外部顧客への売上高	23,614,681	760,691	1,194,517	631,156	26,201,046	435,246	26,636,292	－	26,636,292
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,290,871	174	4,991	1,617,421	2,913,458	20,000	2,933,458	△2,933,458	－
計	24,905,552	760,866	1,199,508	2,248,577	29,114,505	455,246	29,569,751	△2,933,458	26,636,292
セグメント利益又は損失（△）	175,085	9,107	△37,187	57,733	204,739	27,919	232,658	32,723	265,382

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額32,723千円は、セグメント間取引消去であります。
２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	スポーツ用品事業					スポーツ施設事業			
	日本	北米	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
外部顧客への売上高	24,479,749	751,823	1,164,749	792,523	27,188,846	424,211	27,613,058	－	27,613,058
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,539,792	9,442	752	1,542,381	3,092,368	20,059	3,112,428	△3,112,428	－
計	26,019,542	761,266	1,165,502	2,334,904	30,281,215	444,271	30,725,487	△3,112,428	27,613,058
セグメント利益又は損失（△）	751,672	8,607	△20,134	△24,655	715,490	58,750	774,240	21,094	795,335

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額21,094千円は、セグメント間取引消去であります。
２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。